

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シャルレ

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡本 雅文

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 石川 昌弘

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	11,448	△11.6	306	△77.9	334	△76.6	40	△96.4
21年3月期第2四半期	12,957	—	1,382	—	1,429	—	1,118	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	2.10	—
21年3月期第2四半期	57.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	22,656	17,933	79.2	925.50
21年3月期	23,045	18,611	80.8	960.50

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 17,933百万円 21年3月期 18,611百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,080	△10.5	570	△63.2	600	△62.4	270	△70.2	13.93

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 21,034,950株 21年3月期 21,034,950株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 1,658,370株 21年3月期 1,658,340株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 19,376,588株 21年3月期第2四半期 19,380,205株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想に関する詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引く世界的な不況を背景に、企業収益や設備投資の減少が続き、雇用情勢も一層悪化の傾向にあります。個人消費においては、消費マインドの冷え込みは持ち直しの兆しがあるものの低水準を維持し、企業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況で推移しました。

このような環境のもと、当社企業グループは、シャルレの創業精神である「お客様第一主義」のもと、人々のライフスタイルに新たな『豊かさの基準』を提案し続けるカンパニーを目指すために、レディースインナー等卸売事業を柱とし、中期経営戦略を推進し、最優先課題である業績の回復に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社企業グループの売上高は114億48百万円（対前年同四半期比11.6%減）、営業利益は3億6百万円（同77.9%減）、経常利益は3億34百万円（同76.6%減）となりました。また、繰延税金資産の一部を取崩したことなどにより四半期純利益は40百万円（同96.4%減）となりました。

(レディースインナー等卸売事業)

当第2四半期連結累計期間におけるレディースインナー等卸売事業におきましては、前年に掲げた中期経営戦略の基本方針である「シャルレブランド再構築と商品力強化」「特約店の活動活性化」「愛用者基盤の拡大」に加え、「ビジネスメンバー（代理店、特約店、ビジネスメイト）の育成拡大」、「生活コミュニティの創出」を新たな基本方針として掲げ、ビジネスメンバーに対し徹底した意識の共有化を行いつつ、その戦略を段階的に実行してまいりました。その一部として基幹商品の販売強化やビジネスメンバーの活動活性化を目的とした施策を実行し、また、5月より訪問販売の補完チャネルとして一般顧客やメイト会員への通信販売を展開しております。

商品面では、毎年人気を博し、売上の一部をピンクリボン運動支援に寄与している「5 days ショーツ」を7月に発売し、販売状況については前年並みに推移しました。8月には消費喚起、および愛用者の拡大を目的に、評価の高い特定商品を対象に一定期間の値引販売を当社で初めて行い、結果として販売状況は好調に推移しました。また、近年低迷が続いているファンデーション類については、基幹商品の販促強化を目的とした「スタイルアップキャンペーン」を9月から11月の期間で実施し、売上拡大を図っております。アウター類については、ターゲット層を明確にしたライン展開を構築し、「シャルレ ドレッセ」としてシリーズ化を行い、積極的にプロモーション活動を実施しました。9月より秋冬向けのカットソーやパンツ等を順次発売しております。化粧品類については、6月から7月にかけて化粧品の愛用者拡大、および販促強化を目的に「エタリテスムーススタート キャンペーン」を実施し、対象商品においては好調に推移したものの、基礎化粧品全体では前年を下回る結果となりました。8月には前年に発売したシャンプー、コンディショナーのポンプタイプと詰め替え用を新たに発売し、販売状況は好調に推移しました。

営業施策面では、4月に全代理店を対象にした「第26回シャルレ代理店セミナー」を実施し、戦略項目の落とし込み、および意識の共有化を行いました。一方で、ビジネスメンバーの活動支援策として「オープンギャラリー」、および「スマイルアップセミナー」を実施し、ビジネス活動の促進を図りました。また、秋冬の需要期に併せ、9月から11月の期間において代理店・特約店を対象にした「オータムプレゼント2009」を実施し、活動意欲の喚起、並びに売上拡大を図っております。

このように積極的な事業活動を展開し、市場における優位性の高い商品は好調に推移したものの、依然として続くファンデーション類を主とした定番商品の売上低迷や基礎化粧品全体の販売不振、加えて長引く消費マインドの冷え込みも影響し、レディースインナー等卸売事業の売上高は114億24百万円（対前年同四半期比11.4%減）となりました。また、営業利益は3億99百万円（同74.1%減）となりました。

(情報サービス事業)

情報サービス事業におきましては、主力商材であるタッチペンの優位性と独自性を追求し、国内外において、あらゆる分野における需要の提案と積極的な販路開拓を行ってまいりました。国内においては、野鳥の愛好家団体を対象に商品の販売を主体とした事業運営を展開してまいりました。海外においては、次世代タッチペンの開発、および販路の新規開拓に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は10百万円（同97.3%増）となり、営業損失は44百万円（前年同四半期は54百万円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、商品の増加4億18百万円、繰延税金流動資産の減少2億95百万円、投資有価証券の減少6億52百万円等により、前連結会計年度末に比べ3億88百万円減少して226億56百万円となりました。

負債は、買掛金の増加5億75百万円、未払金の減少1億74百万円等により、前連結会計年度末に比べ2億89百万円増加して47億23百万円となりました。

純資産は、四半期純利益40百万円、利益配当金5億81百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億48百万円等により、前連結会計年度末と比較して6億78百万円減少し、179億33百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の80.8%から79.2%に低下しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億9百万円減少し、35億99百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億5百万円の増加（前年同四半期は7億88百万円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益3億51百万円、たな卸資産の増加額4億53百万円、仕入債務の増加額5億75百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億30百万円の支出（同35億83百万円の増加）となりました。主な要因は、定期預金の増加額5億50百万円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入5億1百万円、無形固定資産の取得による支出3億42百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億85百万円の支出（同6億1百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払額5億79百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月11日に公表しました連結業績予想の数値に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の定率法に基づく減価償却費については、当第2四半期連結累計期間を含む事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

② 法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債算定にあたり、加味する加減算項目や税額控除項目を、重要なものに限定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,871	8,831
売掛金	47	39
有価証券	1,778	1,777
商品	3,984	3,566
貯蔵品	76	41
繰延税金資産	1,000	1,296
その他	453	394
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	16,212	15,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,319	1,355
土地	907	907
その他(純額)	68	73
有形固定資産合計	2,296	2,337
無形固定資産	554	517
投資その他の資産		
投資有価証券	1,554	2,207
前払年金費用	1,208	1,229
その他	870	847
貸倒引当金	△39	△40
投資その他の資産合計	3,593	4,244
固定資産合計	6,444	7,100
資産合計	22,656	23,045
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,541	966
短期借入金	—	25
未払金	1,143	1,317
未払法人税等	33	58
事業整理損失引当金	5	54
賞与引当金	257	246
その他	307	398
流動負債合計	3,289	3,067
固定負債		
売上割戻引当金	201	195
退職給付引当金	1,232	1,171
固定負債合計	1,434	1,366
負債合計	4,723	4,434

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	11,167	11,707
自己株式	△1,200	△1,200
株主資本合計	18,464	19,004
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△529	△380
為替換算調整勘定	△1	△12
評価・換算差額等合計	△531	△393
純資産合計	17,933	18,611
負債純資産合計	22,656	23,045

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	12,957	11,448
売上原価	6,612	6,256
売上総利益	6,344	5,192
販売費及び一般管理費	4,962	4,885
営業利益	1,382	306
営業外収益		
受取利息	72	22
受取配当金	1	0
その他	10	10
営業外収益合計	84	34
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	1
有価証券売却損	17	—
為替差損	14	—
持分法による投資損失	5	3
その他	0	0
営業外費用合計	37	5
経常利益	1,429	334
特別利益		
固定資産売却益	198	—
貸倒引当金戻入額	6	—
事業整理損失引当金戻入額	14	—
債務勘定整理益	11	18
特別利益合計	230	18
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	7	1
特別損失合計	7	1
税金等調整前四半期純利益	1,652	351
法人税、住民税及び事業税	463	15
法人税等調整額	70	295
法人税等合計	533	311
四半期純利益	1,118	40

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,652	351
減価償却費及びその他の償却費	211	199
受取利息及び受取配当金	△73	△23
有価証券売却損益 (△は益)	17	—
固定資産除却損	7	1
固定資産売却損益 (△は益)	△198	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△3	△8
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△472	△453
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△28	21
仕入債務の増減額 (△は減少)	453	575
未払金の増減額 (△は減少)	△215	70
前受金の増減額 (△は減少)	△59	27
預り金の増減額 (△は減少)	1	1
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△74	△124
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	63	61
その他	△42	△170
小計	1,238	530
利息及び配当金の受取額	76	18
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△309	55
事業再編による支出	△58	—
たな卸資産自主回収による支出	△158	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	788	605
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	2,600	△550
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	732	501
有形固定資産の売却による収入	372	0
有形固定資産の取得による支出	△35	△34
無形固定資産の取得による支出	△54	△342
関係会社出資金の払込による支出	△20	—
その他	△12	△106
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,583	△530
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△6
配当金の支払額	△601	△579
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△601	△585
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,767	△509
現金及び現金同等物の期首残高	5,869	4,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,636	3,599

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

レディースインナー等卸売事業の売上高および営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計および営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	レディースインナー等卸売事業 (百万円)	EC事業 (百万円)	情報サービス事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	11,424	13	10	—	11,448	—	11,448
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,424	13	10	—	11,448	—	11,448
営業利益又は営業損失(△)	399	9	△44	△4	360	(54)	306

(注) 1 事業区分の方法は、商品の種類、販売形態、販売経路および重要性を考慮して区分しております。

2 各事業の主な商品・サービス

レディースインナー等卸売事業 レディースインナーを主体とする衣料品・化粧品等

EC事業（インターネット通信販売） 化粧品、ベビー&キッズ用品、総合ギフト

情報サービス事業 IT機器の企画、開発、販売およびサポート

その他の事業 特記すべき事項はありません

3 従来、「その他の事業」に含めておりました「情報サービス事業」は、重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より独立区分しております。なお、前第2四半期連結累計期間における情報サービス事業は、売上高5百万円、営業損失54百万円であります。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）および当第2四半期連結累計期間

（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）および当第2四半期連結累計期間

（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。